

2021年5月18日  
発行

No.  
89

カトリック大阪教会管区  
カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

発行人 諸訪 榮治郎  
編集 スタッフ一同

# 大船渡だより



## 地域のイベントや活動紹介

### 高田松原一般開放

約2キロにわたって広がる砂浜と、約7万本の松原が美しく国の名勝に指定されていた『高田松原』が、東日本大震災によって壊滅的な被害を受け再生工事が進められていきましたが、この程ほぼ完了し、4月1日、一般に開放されました。



復興祈念公園から海に向かってまっすぐ伸びる道を進むと、12.5mの防潮堤に着きます。ここから先は震災後初めて足を踏み入れる地です。階段を降りると植樹した3万本の松が左右に広がります。背丈は大きいもので1.5mほど。近く1万本植樹される予定で、最終的には4万本になるそうです。その小さな松林を抜けると砂浜です。約1キロ、幅30~60mにわたり整備されました。後ろを振り向くと高い壁が立ちはだかっていますが、波打ち際で遊ぶ子どもの姿や砂浜を歩く人々の姿、砂浜から眺める太平洋は震災前と変わらず懐かしい光景です。



### 特別なイースターエッグ

4月4日(日)は、イエス・キリストの復活を記念した、教会の大きなお祝い日の『復活祭(イースター)』でした。

復活祭は“春分の日の後の最初の満月の次の日曜日”と定められていて、毎年日付が違います。教会ではクリスマスより重要なお祝い日として、盛大なミサを捧げてお祝いし、パーティなどを行ないます。

今年はコロナ禍の中、三密に気を配り、聖歌を歌わずに肃々とミサが捧げられました。最近は大船渡教会も高齢化が進み、イースターエッグを準備する人がいないので、カリタス大船渡ベースのスタッフやボランティアさんにお願いして作ってもらっていましたが、ボランティアさんはコロナ禍の為おらず、ベーススタッフも手が回らないので、今年は岩手県を代表する銘菓『かもめの玉子』で代用することにしました。

ミサの後に神父様から祝福していただいた特別な玉子を、皆さん大喜びで受け取り、ミサに参加できなかった家族や友人の為にもと受け取っていました。復活祭が来ると、いよいよ春本番です。



### ベースからの お知らせ

#### ○カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～

カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行ないます。

#### ▽Facebookページで配信中！

インターネットで『カリタスみちのく』を検索すると、どなたでもご覧いただけます。



#### 大船渡市の中心地の様子(2021/5/11撮影)



#### ボランティア登録者数

男性 678人  
女性 1391人  
⇒ 合計 2069人

◆4月1日～4月30日  
ボランティア数  
男 性：0名  
女 性：0名  
  
新型コロナウイルス感染予防のため、  
当分の間、ボランティアさんの受け入れ  
を中止とさせていただきます。

#### 2021年4月1日～30日の活動紹介

##### <毎週の活動>

- ・水 / 土曜日 『買物送迎』
- ・火曜日 りんご農家手伝い
- ・水曜日 『手芸サロン』
- ・木曜日 『パステル絵手紙』
- ・土曜日 『英語学習会』
- ・在宅訪問
- ・個人依頼
- ・地域支援
- ・ファミリーサポート(子ども預かり)

##### <その他の定期活動>

第2・4金曜日『のびのび広場』